

- (2) 有罪の判決を受けた場合。(有罪の定義については和訳省略)
- (3) 自己または他人の利益の為に、不正行為や詐欺等を行ったことがある場合。また他の者に大きな傷害を与えたことがある場合。
- (4) ライセンス保持者が犯したなら、ライセンスの停止、無効になるような行為を犯したことがある場合。
- (5) ライセンス発行を拒否されたことがある場合。または無効にされたことがある場合。
- (6) ライセンス発行を拒否されたまたは停止、無効にされた役員、共同事業者、マネージャーである場合。
- (b) ライセンス、登録が対象とする資格、運用、義務に大きく関係するような犯罪を行ったことがある場合、当局はライセンス、登録を却下出来る。
- (c) 却下の場合、その理由は文書で伝えられる。もし、却下された者が事情を聞きたい場合は、却下後30日以内に要請する事とする。
- (c) この法律にかかわらず、軽犯罪並びに重犯罪を犯した者であっても、刑法が定める復権証明書を取得している場合は、これのみを理由にライセンス、登録が却下される事があってはならない。

6980.74

当局は下記の違法な行為があった場合はライセンスを停止、無効にする事が出来る。但し、停止、無効はこれらの行為に限られてはいない。

- (a) ライセンス申請において、重要事項を虚偽または隠匿した場合。
- (b) この法律を当局が施行する際に妨害した場合。
- (c) その情を知りつつ、犯罪行為に対し技術、工具、施設などを提供した場合。
- (d) 錠前業者としての資格、運用、義務に大きく関係した犯罪で有罪判決を受けた場合。
- (e) この法律や法律を基に設定された規約に違反した場合。

ルイジアナ州錠前業に関する法律によれば

13章ーロックスマスの認可

1391. 目的の宣言

A. 議会がこの章を制定した目的は、ロックスマスを営もうとする人や、ルイジアナ州でロックスマスを利用し信頼している人々の安全を守るためである。ロックスマスを営むためのライセンスを確立し、ロックスマスとして未熟、不法な行為から人々を保護することはルイジアナ州のポリシーである。ロックスマスは個人とその財産の安全を守るとの公衆の信頼の下に業務を行い、セキュリティ装置をバイパスまたは無効化する知識や工具を所有する。ロックスマスは適切な規制や、アメリカ身体障害者対策法(Americans With Disabilities Act)、建築物に関する法、火災と生命安全に関する法に正しく従うべく訓練されねばならない。また同時に、より良い公共のためのセキュリティ装置を導入、保守すべく訓練されねばならない。

B. ロックスマス認可州委員会は、ルイジアナ州で唯一、ロックスマスに従事する、または従事しようとする人にライセンスを与える権限を持つ。

1395. ライセンスの資格；試験；免除；例外

A. 1998年7月1日以降、有効な最新のライセンスが無ければ、特別な免除のある場合を除いて、ルイジアナ州ではロックスマスとして業務を行うことも、ロックスマスと名乗ることもできない。

B. 委員会は、以下の条件をすべて満たす志願者にロックスマスライセンスを発行する：

- (1) 18歳以上であること。
- (2) 規則に従って委員会が発行した申請書を全てそろえていること。

- (3) 重罪で仮出所もしくは執行猶予中ではなく、申請日時より前の5年以内に重罪で投獄されていないこと。
 - (4) ライセンス試験を通過すること。
 - (5) ライセンス料金を支払うこと。
 - (6) ルイジアナ州の法律を遵守し、人格が善良であること。善良な人格はライセンスの資格を保持する間は継続して要求される。
 - (7) 精神的または肉体的欠点もしくは病気によって、法廷で責任能力無しと宣言されていないこと。
 - (8) 習慣的なアルコール依存、麻薬中毒・依存で苦しんでいないこと。
 - (9) アメリカ合衆国の軍隊業務から不名誉な除隊をされていないこと。
 - (10) 少なくとも50万ドルの保険手段の証明または同等のものを委員会に提出すること。保険が維持できなければ、ライセンスも取り消しになる。他のロックスマスに雇用されているロックスマスは、雇用者の保険で自分もカバーされていることを証明しなければならない。
 - (11) この項の(3)を除いて、ライセンスが求められる職業に直接関係のある犯罪でなければ、初犯のためにロックスマスに従事するライセンスの発行を拒否されることはない。しかし、その犯罪の記録に基づいて、申請者がロックスマスに従事するに適さない、ルイジアナ州やアメリカ合衆国の法律を破っていることが判明すれば、委員会はライセンスを拒否する権限を持つ。
 - (12) アメリカ合衆国民、もしくは法定居留外国人であること。
 - (13) 他の州の住民がこの項に従うなら、ルイジアナ州の物品販売税身元証明番号と、開業する郡（訳注："parish"ルイジアナ州独特の行政単位）の物品販売税番号を申請中であるか、既に所持していることを委員会に証明せねばならない。
- C. ロックスミスの試験は以下のガイドラインに従って行われる：
- (1) 委員会は、適切な日時と場所を示し、錠前業のライセンスの志願者に試験を行う。
 - (2) 委員会は、錠前業のライセンスの志願者の能力を評価する権限を持つ。委員会は能力を評価するために試験を発展させ、適切に管理することとする。
- D～J 略
- 1396～1399 略
1400. 罪；罰金；禁止行為
- A. ロックスミスのライセンスを持たずに、ロックスマスだけに許される特別な工具を用い、錠前の設置、修復、手動ないし電氣的操作による解錠・施錠、錠前の機能やコンビネーションの変更、施錠された車両の解錠等を行った場合は、この章に違反する。
- B～E 略

ニュージャージー保安許可法によれば

Chapter 95; Sections 2C:5-6

<無関係部分は適宜省略>

2. 定義

- (a) "法"とは、この法およびこの法の下に制定される規則や規制を意味する。
- (b) "委員会"とは、この法の第3章の下に設置される「電機関係契約者の試験官委員会」を意味する。
- (c) "局"とは、"司法公安局"を意味する。
- (d)～(e) 略
- (f) "警報事業"とは（以下省略）
- (g)～(m)略

- (n) "ロックスマスサービス"とは、いかなる報酬を目的とするに関わらず、機械的錠前装置や電子的セキュリティ装置の調整、再組立、修理、導入等を行うことを意味する。これは次の作業を含む：機械的・電子的施錠装置の修理、再取付、記録、調整、導入、操作およびバイパス。また、その施錠装置は、次のものを対象としていることが前提である：出入管理、車両、金庫、金庫室、安全ドア、施錠箱、そこへの侵入が制限されている安全管理されたエリアのための自動通報装置や他の装置。(以下、続く例示は省略)

45:5A-23 火災報知器、防犯報知器および錠前業顧問委員会

3. a. 「電気関係契約者の試験官委員会」管理下の「法および公共安全局」にある消費者統括部門に「火災報知器、防犯報知器および錠前業顧問委員会」を設置する。委員会は以下のように本州の住民 15 名で構成することとする。

a.(1)~(9)および b~f 略

4. 局は下記の権限と義務を負う。あるいはそれらを委員会にゆだねることとする。

- a. 火災報知器、防犯報知器あるいは錠前業者ライセンスの申請者に対する審査認定および適格者に対するライセンスの発行。

b~m. 略

5. a. この法の要求項目を満足させない人物が防犯報知器、火災報知器あるいは電子的セキュリティシステムの設置、サービスあるいは保守を行う認定を受けているかのように広告することは許されない。

- b. 本規定の規定に従ってロックスマスとしての許可を受けてない人物がロックスマスを営むことはできない。

7. a. ロックスマスに参入するための開業の許可を得ようとするものは、以下の条件を満たす必要がある。

- (1) 18 歳以上であること。
- (2) 人格が善良であり、許可申請書を提出する 10 年以内に 1 級、2 級、3 級の犯罪で有罪となっていないこと。
- (3) 委員会が諮問し、局が認定した審査を受けることにより、十分な経験があると考えられ、継続的な教育を受け、財産的責任能力があり、人格が善良であることを局に証明できること。
- (4) 錠前業としてのサービスする実力を申請者が保持しているかどうかを見極めるために、委員会の諮問により局が認定した筆記試験に合格することが必要である。ただし、この法の施行日の 1 年以上前からロックスマスに従事し、かつ施行日から 120 日以内に申請を行ったものは試験不要である。(以下省略)

b. 略

45:5A-30 ロックスマスライセンスの発行

10. この法の他の条項にもかかわらず、局はこの法の施行日から 6 ヶ月以内に、十分な証明と所定の費用を添えて申請があれば、以下の人物にはロックスマスライセンスを発行する。

- a. 米国労働省の職業訓練局の認定したロックスマス職業訓練プログラムを終了したもの、

- b. ロックスマスライセンス申請の 3 年以上前からロックスマスにフルタイムに従事していたもの

11. 略

12. a. この法の規定の下に資格を与えられたライセンス保持者であっても、以下の条件を備えない限り、防犯報知器施工業やロックスマスの現場において業務を行うことはできない。

- (1) 米国内において少なくとも 1 つの事務所を管理する。(以下省略)

- (2) 事業者は、サービスを行う業務用車両の外側には、はっきりと防犯報知器施工やロックスミスのサービスを行っていることや、その社名を表記する。
- (3) 24時間対応の受付電話を維持管理し、非常時には24時間適切な対応をとる。
- (4) 略
- b. 州内に少なくとも1つの事務所がある場合には、ロックスミス免許を持った従業員が必ずいなくてはならない。

ノースカロライナ錠前業者の認可法によれば

74章 ロックスミスの認可

74F-1. 表題

この法令はノースカロライナ州ロックスミス認可法である。

74F-2. 目的

ロックスミスは車両、家屋、事業所の安全装置をバイパスおよび無効化する知識や道具を持っている。米国の連邦法は、訓練を受けていない人物や犯罪意図のある人物により、この知識や道具が悪用されることから、市民を保護してはいない。それ故、ロックスミスの認可は、公衆の衛生、安全、福利を守るために必要となるのである。

74F-3. 認可証の要請

いかなる人物もこの章の規定の下で認可されなければ、この州でロックスミスのサービスを提供してはならない。この項の違反は、より大きな罰則を定める他の法の規定で処分されない場合、第3級の軽犯罪となる。

74F-4. 定義

以下の定義がこの章に当てはまる。

- (1) "委員会"—ノースカロライナ錠前業者認可委員会
- (2) "コードブック"—鍵やダイヤル錠のコンビネーションを編集したもの
- (3) "認可証"—委員会によって発行され、その者がこの章で定められたロックスミスを営むための必要条件を満たしたことを示す証明書
- (4) "ロックスミス"—委員会によって認可証を発行された者
- (5) "ロックスミスサービス"—錠前、機械式および電機式施錠装置、出入管理装置、金庫、金庫室および安全箱等の修理、再組立、変更、再固定、提供、調節、取付け等を意味し、いわゆる金庫職人によるサービスを含む。
- (6) "ロックスミスツール"—製造業者が想定する以外の方法で、機械式および電機式施錠装置を開けるために設計、使用される道具。

74F-6. ノースカロライナ錠前業者認可委員会の権限

委員会は以下のことをする権限と義務がある。

- (1) ~ (3) 略
- (4) 認可証の発行、更新、不承認、一時停止、取消しおよびこの章によって権限を与えられた懲戒措置の指導
- (5) ~ (14) 略

74F-7. 認可証取得の条件

申請者が以下の条件をすべて満たす場合にのみ、錠前業者の認可証を受けることができる。

- (1) モラルがあり人格が善良であること。
- (2) 18歳以上であること。
- (3) 委員会による、ロックスミスサービスに関する知識と技術、ロックスミスに適用